

第70期 株主通信 上半期報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日

ニチレキ株式会社



証券コード：5011

To Our Shareholders

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第70期上半期(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)の業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、政府の経済政策等による円安や株価上昇、企業業績の改善や個人消費の持ち直しなどが見られ、一部海外景気の下振れリスクの懸念は残るものの、景気は緩やかな回復基調となりました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、政府の補正予算執行により道路関連の公共工事は堅調に推移したものの、原油価格のさらなる上昇や円安による原材料価格の上昇、受注競争の激化など、引き続き厳しい状況となりました。

当社グループはこのような環境の下、中期経営計画『Grow up 2015』の初年度として、「顧客の拡大」を最重要課題とする成長戦略に基づき、各施策の取り組みを進めてまいりました。

当上半期の業績につきましては、売上高は26,520百万円(前年同期比25.3%増)となりました。また、営業利益は2,048百万円(前年同期比1,970.5%増)、経常利益は2,121百万円(前年同期比1,169.1%増)、四半期純利益は1,022百万円(前年同期比1,109.4%増)となり、増収増益の結果となりました。

事業別で見ますと、アスファルト応用加工製品事業につきましては、自社製品を含む工法の設計活動を推進するとともに、経費の削減等に努めた結果、売上高は9,363百万円(前年同期比7.5%減)、セグメント利益は1,505百万円(前年同期比30.3%増)となりました。道路舗装事業につきましては、補正予算などによる発注物件の受注活動に

加え、原価管理や効率化を進めた結果、売上高は17,017百万円(前年同期比56.0%増)、セグメント利益は1,306百万円(前年同期は343百万円のセグメント損失)となりました。その他につきましては、不動産賃貸収入などにより、売上高は140百万円(前年同期比0.6%減)、セグメント利益は100百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

今後につきましても、当社グループは中期経営計画『Grow up 2015』の各施策を着実に推進し、引き続き業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

代表取締役社長 山内 幸夫

■ 連結財務ハイライト

		第70期 上半期	第69期 上半期
売上高	(百万円)	26,520	21,168
営業利益	(百万円)	2,048	98
経常利益	(百万円)	2,121	167
四半期純利益	(百万円)	1,022	84

		第70期 上半期	第69期末
総資産	(百万円)	52,851	53,929
純資産	(百万円)	35,216	33,811

長寿命化アシスト型 橋面舗装用バインダ

『レキファルトスーパー』

橋は交通の要所にあたり、補修や架け替えなどを行う場合、渋滞などに伴う社会費用の損失が大きい
ため、長寿命化が望まれる社会資本の一つです。

このため、橋を守る舗装にも耐久性の高いものが
求められておりました。そこで、橋面舗装として求
められる混合物性能を確保しつつ、通常より締固め
温度範囲を大幅に拡大した『レキファルトスーパ
ー』を開発しました。

冬場の橋面舗装の施工ではアスファルト混合物
の温度が冷えやすく、締固め作業を迅速に行うなど
細心の注意を払う必要がありました。『レキファル
トスーパー』を用いることで、従来より締固め作業
に要する時間を長く確保できるため、より品質の高
い施工に繋がり、橋梁の長寿命化にも貢献してい
ます。



低温期でも丁寧な転圧作業が可能

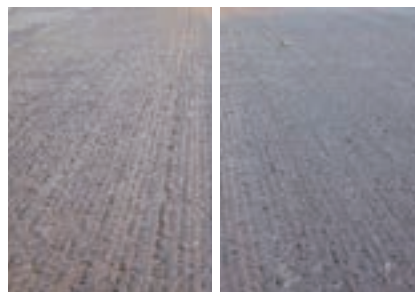
速分解タイヤ付着抑制型 タックコート乳剤

『スーパータックゾール』

養生時間を著しく短縮できるタックコート乳剤、
『スーパータックゾール』を開発しました。

今までのタックコート乳剤は、気温が低くなると
分解に長い時間を要していました。『スーパータッ
クゾール』は、気温に関わらず乳剤散布後の養生時
間がほとんどいらいため、規制時間の制約が大き
い集中工事や、交通量の多い箇所における工事でよ
り一層威力を発揮します。

ニチレキグループは、「お客様の声に常にお応え
しよう」を合い言葉に、全社一丸となってこれまで
にない製品・工法の開発に取り組んでおります。こ
れからも、ニーズを的確に捉え、お客様に満足して
頂けるものを創造・提供してまいります。



散布直後の分解状況
(左：PKM-T、右：スーパータックゾール)

各地の建設技術展示会に積極的に参加

ニチレキグループ全体の取組みを広く知って頂くため、国内各地の展示会に参加し、ユーザーや業界関係者向けに最新の技術情報を発信しています。

2013年は、以下の展示会に出展いたしました。

- ・『EE東北'13(Engineering Exhibition東北'13)』
(国交省東北技術事務所主催)
- ・『建設技術フェア2013 in 中部』
(国交省中部技術事務所主催)
- ・『ハイウェイテクノフェア2013』
(高速道路調査会主催)
- ・『日本道路会議 ポスターセッション』
(日本道路協会主催)

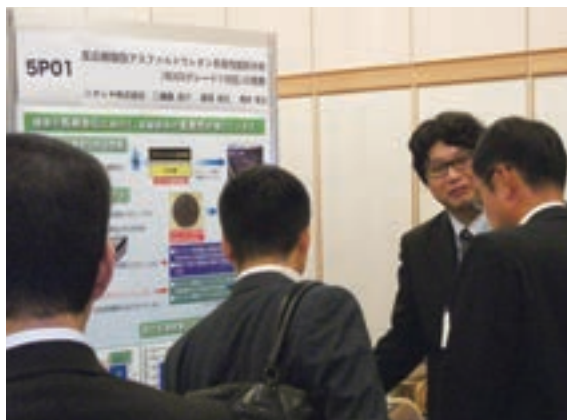
道路ストック総点検に対応した調査技術や、アスファルトウレタン塗膜型高性能床版防水『HQハイブレンAU工法』、積雪寒冷地でも骨材飛散抵抗性に優れるポーラスアスファルト舗装用バインダ『ケミファルトSV』、橋面舗装で混合物の温度が低下しても締固め度が得やすい施工アシスト型バインダ『レキファルトスーパー』など、新たに上市した製品・工法を紹介いたしました。

どの展示会も多くの方に来て頂き、質問が絶えないほど大盛況でした。

ニチレキグループではこのような展示会を通じて皆様から頂いた貴重なご意見・ご要望にお応えすべく、今後も新たな技術開発を進めてまいります。



ハイウェイテクノフェア2013ブース



日本道路会議ポスターセッション

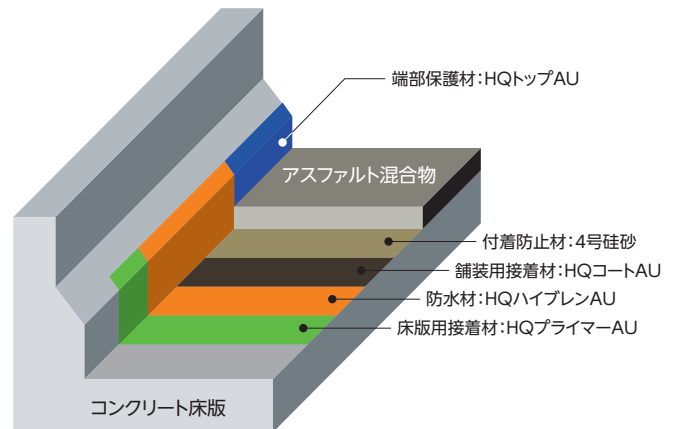
HQハイブレンAU工法

橋梁の長寿命化に資する技術として、アスファルトとウレタンを複合させた床版防水『HQハイブレンAU工法』を開発しました。
本工法の特徴を以下に示します。

- ▶ 防水材は散布後早期に硬化し、地覆部から床版部までシームレスで確実な防水層を構築することができます。
- ▶ コンクリート床版とアスファルト混合物との接着性に優れています。
- ▶ 床版部は4層、地覆部は3層のシンプルな断面構成で、施工性に優れています。

ニチレキグループは今後も道づくりを通して社会に貢献していくため、市場環境の変化やニーズを的確に捉えた新製品・新工法の開発に積極的に取り組んでまいります。

断面構成



施工前



施工状況



施工完了

電磁波技術を活用し、インフラ点検に活躍

日本の舗装は昭和40年代に集中的に整備され高い経済成長を支えてきました。それから40年以上が経った現在、老朽化が課題となっています。安心して舗装を利用し続けるためには点検が不可欠となっています。修繕は、今ある舗装を評価することから始まります。

ニチレキグループは、電磁波技術を活用し非破壊で舗装の各層の厚さを調査する『ロメンキャッチャーHK』を開発しました。既設舗装の評価の第一歩は厚さを知ることです。効率的で効果的な調査方法を提案し、社会資本の長寿命化に貢献してまいります。



ロメンキャッチャーHK

Corporate Data & Stock Information

■ 会社の概要

商号 ニチレキ株式会社
 本社所在地 東京都千代田区九段北四丁目3番29号
 設立 昭和24年9月
 資本金 29億1千9百万円
 従業員数 725名 (連結)、363名 (単体)
 主な事業内容

- アスファルト応用加工製品の製造・販売、建築・土木用資材の製造加工・販売
- 道路舗装工事・防水工事・上下水道工事ならびにその他の土木工事の請負およびこれらに関する調査・設計・監理
- 測量・地質調査
- コンピュータ情報サービス・ソフトウェアおよび情報処理機器の開発・販売
- 屋内外の各種表示および広告の企画・設計・施工ならびにこれらに使用する印刷物の製造および販売

■ 取締役・監査役一覧

代表取締役社長	山 工 内 幸 夫
代表取締役	藤 俊 二
取締役	高 橋 保 守
取締役	住 谷 義 治
取締役	川 口 裕 司
取締役	小 幡 学 吉
取締役	羽 入 昭 吉
常勤監査役	坂 巻 宣 明
監査役*	滝 久 男 修
監査役*	小 林 博 光
監査役	雲 川 博 光

※印は社外監査役であります。

■ 執行役員一覧

執行役員社長*	山 工 内 幸 夫
執行役員副社長*	藤 俊 二
専務執行役員*	高 橋 保 守
常務執行役員*	住 谷 義 治
常務執行役員*	川 口 裕 司
常務執行役員*	小 幡 学 吉
上席執行役員*	羽 入 井 昭 吉
上席執行役員	坂 巻 宣 明
上席執行役員	江 里 勝 美
上席執行役員	野 村 敏 明
上席執行役員	根 清 一
執行役員	国 光 隆 太 郎
執行役員	熊 谷 吉 行
執行役員	寺 田 実

※印は取締役兼務者であります。

■ 事業所

本 社 東京都千代田区九段北四丁目3番29号
 技術研究所 栃木県下野市柴272番地
 支 店 全国9支店(北海道・東北・関東・東京・中部・関西・中国・四国・九州)
 営業所 全国45営業所
 出張所 全国11出張所
 工 場 全国21工場

■ 主な子会社の概要

会社名	資本金 (単位:百万円)	主な事業内容
北海道ニチレキ工事株式会社	40	舗装工事等の請負
東北ニチレキ工事株式会社	65	舗装工事等の請負
日瀝道路株式会社	150	舗装工事等の請負
日レキ特殊工事株式会社	30	舗装工事等の請負
中部ニチレキ工事株式会社	80	舗装工事等の請負
近畿ニチレキ工事株式会社	50	舗装工事等の請負
中国ニチレキ工事株式会社	50	舗装工事等の請負
四国ニチレキ工事株式会社	17	舗装工事等の請負
九州ニチレキ工事株式会社	23	舗装工事等の請負
朝日工業株式会社	50	舗装工事等の請負

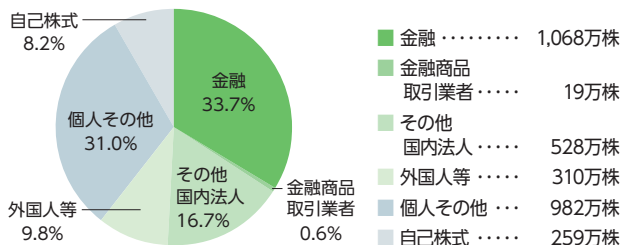
■ 株式の状況

発行済株式総数及び株主数

発行可能株式総数 90,000,000株
 発行済株式の総数* 29,090,270株
 株主数 2,958名

※自己株式2,595,685株を除く

■ 所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
単元株式数	1,000株
定時株主総会	毎年6月
期末配当基準日	毎年3月31日
公告方法	電子公告
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所 (郵便物送付先・ お問い合わせ先)	168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 Tel.0120-782-031 (フリーダイヤル)

(お知らせ)

三井住友信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページ

- フリーダイヤル 0120-782-031
- ホームページ <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株主メモ (お知らせ)

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ニチレキ株式会社

<http://www.nichireki.co.jp>

〒102-8222 東京都千代田区九段北4-3-29

TEL: 03-3265-1511 FAX: 03-3265-1510



見やすく読みまちがえにくいユニ
バーサルデザインフォントを採用
しています。